



統計スポット情報

No. 50

13.5.31

福井県総務部情報政策課

小売業全体の販売額が減少する中でコンビニの販売額が増加!!

今回は、11年商業統計調査から、弁当や総菜などの加工食品や日用品などがいつでも買え、また、電気・ガスなど公共料金の支払いなど利便性が高く、便利さを売って新しい業態のほしりともいうべきコンビニエンス・ストア(以下「コンビニ」といいます。)についてみてみましょう。

コンビニは、新しい業態のため小売業全体に占める割合は、11年の調査で商店数で2.0%、年間販売額で2.9%とわずかです。しかし、年間販売額を9年調査と比較すると、小売業全体では9.6%と大幅に減少しているのに対し、コンビニは4.8%増加しています。

コンビニエンス・ストアの動向

分類	商店数					従業者数				
	実数(店)		構成比(%)		前回は (%)	実数(人)		構成比(%)		前回は (%)
	9年	11年	9年	11年		9年	11年	9年	11年	
コンビニ	224	230	1.9	2.0	4.5	1,736	2,369	3.4	4.3	25.7
それ以外の商店	11,456	11,416	98.1	98.0	8.9	48,709	53,172	96.6	95.7	1.8
小売業全体	11,680	11,646	100.0	100.0	8.8	50,445	55,541	100.0	100.0	2.7

分類	年間販売額					売場面積				
	実数(億円)		構成比(%)		前回は (%)	実数(m ²)		構成比(%)		前回は (%)
	9年	11年	9年	11年		9年	11年	9年	11年	
コンビニ	248	284	2.4	2.9	4.8	21,419	22,465	2.0	2.1	3.9
それ以外の商店	9,988	9,526	97.6	97.1	10.0	1,044,062	1,064,461	98.0	97.9	3.0
小売業全体	10,236	9,810	100.0	100.0	9.6	1,065,481	1,086,926	100.0	100.0	3.0

(注1)平成11年調査において事業所の捕そくを行っており、前回は時系列を考慮したもので算出しています。

(注2)コンビニエンス・ストアとは、セルフサービス方式を売場面積の50%以上で採用、営業時間が14時間以上、売場面積が30m²以上250m²未満、飲食料品を取り扱っていること、のすべての条件を満たす店舗をいいます。

次に、コンビニの終日営業店と終日営業店以外の割合をみてみましょう。

9年の調査では終日営業の商店数はコンビニ全体の45%でしたが、11年の調査では大幅に増加して半数以上(55%)を占めるようになりました。従業者数、年間販売額、売場面積についても、終日営業店が大幅に増加しています。

コンビニエンス・ストアの終日営業店と終日営業店以外の割合

